

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成27年(2015)6月10日

No. 90

発行 高津啓洋

第4回大槌町植樹祭

第4期大槌町「平成の杜」植樹会が5月23日、岩手県大槌町で開催され、当会からも13名が参加しました。

今回で3回目となる大槌町「平成の杜」植樹会は、初夏を思わせる暑い中での作業となり、参加者の中で熱中症に罹り救急車で搬送されるという事態が発生しましたが、私達13名は全員元気で240本程植樹する事が出来ました。

大槌町で横浜ゴムが主催して行われる「平成の杜」植樹会は、今

回の第4期をもって終了となります。大槌町平成の杜の植樹は約40,000本が宮脇先生の指導で植えられ、第I期に植えた木の中で「山桜」は特に成長が顕著で、4m～5mに成長している木もありました。また、目視で確認した限り枯れた木は全く見当たりませんでした。



手前は昨年、奥の木は一昨年の植樹した木



大槌町にある第20・21仮設団地慰問しました。

2012年は植樹と3カ所での鎮魂慰霊の旅、2014年は景勝地浄土ヶ浜の見学を加え、今回は大震災以来4年余りに亘り、不自由な生活を余儀なくされて居られる被災者の方々を訪ねる慰問の一時を持ちました。訪問地は岩手県大槌町内に

ある第20・21仮設住宅団地(60世帯在住)でした。60世帯在住とはいつでも高齢の方が多く、働いており時間が無い等などの理由で集まった方は8名でした。

松原章会員の能楽師 観世流師範。奥平さんの健康体操。大川夫人による「柴田とよ」さんの詩朗読。桑茶でティータイム。私達で「おぼろ月よ」を皆で合唱。プレゼントを手

渡し記念撮影で終了しました。

その後、3.11大震災で妊娠9カ月だった奥様を亡くされた片桐浩一さんにお会いし、片桐さんが奥様を偲ん作られた詩を元にして作った歌「想いを繋ぐ」のCDを手渡しました。今回は美容室を新装され、前向きな姿にホッとしました。(大滝記)

ルクセンブルグの森

今日まで支援者によって、多くの森が作られてきました。今回、植樹400本で新たにルクセンブルグの森ができました。世話人となった名古屋支部長の山本力雄さんの尽力に感謝します。ニームの木を中心にレダでもとりわけ大きく成長しています。

